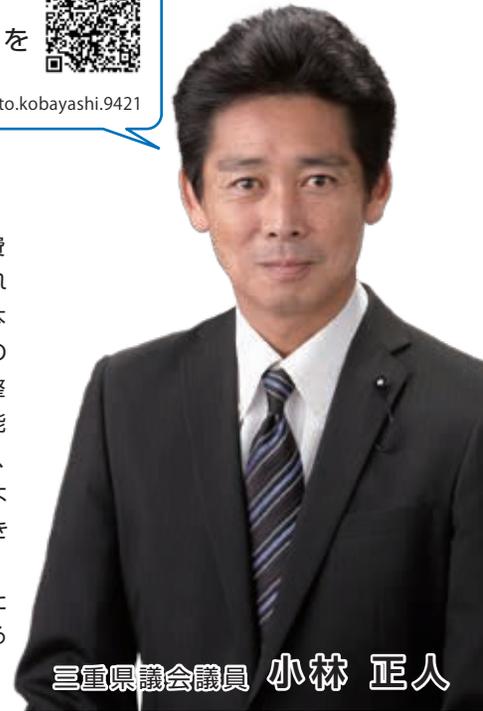


facebook

皆様からの「いいね!」を
お待ちしております

<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



三重県議会議員 小林 正人

ご挨拶

初秋の候 皆様に於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

あらためまして、今期皆様のお力で充実の三期目を務めさせていただくことになりました。

ご期待に添うべく、できる限り県政発展、また鈴鹿市と県とのパイプ役として、いろいろな問題に注力させていただき所存であります。

中でも個人的に重要視している問題、大きくは国マターの話ではありますが、医療・年金・社会保障等制度の改正、(現状国全体での福祉費約17兆円、医療費約35兆円、年金約58兆円、これが10年後には福祉費が約32兆円、医療費約60兆円、年金約84兆円になると試算されております。)年々人口減少と反比例するように増大、これに如何に対応していくのか。また、地方創生の交付金1兆円の受け皿として県が本当地域の活性化等につなげられるような体制整備を築く為にはどうすればいいのか。更には来年本県で開催予定のサミットを一過性のものではなく、地域の繁栄、活性化等にどのようにつなげていくのか等。また地元地域の問題としては、引き続き巨大自然災害に備えたインフラ整備(中でも堤防改修問題は個々の箇所を改修するだけではなく、抜本的に約12キロある海岸隣接部全体をかさ、幅も十分考え、道路の機能も兼ね備えられるよう改修促進の為に同盟会を作って取り組む等。)交通インフラ整備においては、高規格道路の必要性も理解できますが、まずは地域の生活道路(ライフライン)の整備(国府バイパス及びその先線、鈴鹿環状外回り路線の事業化等)、また三次救急に対応できるような医療機関連携や看護師不足の問題、障がい者において医療機関での窓口無償化等。更には女性の就業確保や質の高い保育が提供できるよう、低年齢児保育補助制度をH24年度以前の制度に戻すことや保育士の確保等。特に中心視して取り組んでいこうと思います。

このような思いを持ちながら、皆様に県政のご報告、ご意見をいただく為の県政レポートもおかげをもちまして第25号を発行させていただくこととなりました。今回は、5月に決まった新しい役職、又6月におこなった県政に対する一般質問、また平成27年度の鈴鹿地区における道路、河川、堤防等整備状況及び農道、用水路のバイパス化等の進捗状況をご報告させていただきたいと思っております。

時節がらまだまだ暑い日が続きますので、お身体には充分ご留意ください。

新たな役職に就任させていただきました。

- 自民党会派 政策委員長 (会派代表三役)
- 議会運営委員会 副委員長
- 予算決算常任委員会 理事 (委員兼務)
- 戦略企画雇用経済常任委員会 副委員長
- 都市計画審議委員会委員



● 議会運営委員会正副委員長で議会を代表して献花(沖縄 三重の塔にて)



● 議運のメンバーと共に沖縄県議会棟前で



● 沖縄県議会で議会改革の意見交換



● 「Cotti菜」へ障がい者就労についての現地調査



● 高度部材イノベーションセンター「AMIC」視察



● 海女文化について現地で意見交換



● 鹿児島県議会で議運のメンバーと共に

6月定例会議会 県政に対する一般質問

人口減少問題について

- Q1. 生産人口減による労働力不足について、女性、高齢者、外国人の就業をどのように考えるのか?
- Q2. 少子化問題として出生率低下等、自然減対策をどのように考えるのか? また高齢化問題も深刻で特に介護、医療を必要とするお年寄りが増加傾向にある昨今、その対策は?(年金、社会保障費の確保等含めて)
- Q3. Q2の関連で地域包括ケアシステムの構築も急務だが、実際問題として核家族化の進展や子育てをしながらの住宅介護等難しい問題もあり、老人施設の増床等、待機老人対策として必要だと考えるがいかなものか?
- Q4. 県内の空き家対策について広域自治体としての取り組みは?
- Q5. 社会減の大きな一つに県内の15歳から29歳、いわゆる進学時、就職時に県外へ転出される若者が増加傾向にあるがその対策は?



障がい者雇用・県の優先調達方針について

- Q1. 障がい者就労施設及び障がい者雇用促進企業からの調達方針目標額の設定について
- Q2. 社会的事業所の運営状況について



三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿について

- Q1. 国体やインターハイを控え、また学生や地域住民の利用等を鑑み、現状の公共交通機関では問題があると思うが、今後県の整備に対する考え方は?
- Q2. サッカー場、J1リーグスタジアム検査要綱の改正後の整備方針について



県道神戸長沢線整備について

- Q1. 定五郎橋改修(右折レーン設置)について、前回質問時に前向きに検討するとお答えになられたがどれくらい進んだのか?



平成27年度鈴鹿建設事務所及び四日市農林事務所管内の主な事業

1. 鈴鹿建設事務所管内の主なもの 昨年度予算からほぼ横這い状態ですが、災害対策・道路整備・県河川・港湾改修に必要な予算獲得に向けて尽力致します。
(単位:千円)

事業名	施工箇所	進捗状況		平成27年度事業費	平成27年度事業概要
		H26当初事業費	～H26進捗率		
一般国道306号(伊船BP) 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市伊船町～長沢町	103,712	76.7%	114,083	用地補償道路工
四日市関線 道路改築事業(地方道路整備)	鈴鹿市大久保町～山本町	102,598	43.5%	20,000	交差点詳細設計用地補償
神戸長沢線(II期工区) 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市伊船町～長沢町	0	0.0%	10,371	交差点設計
鈴鹿環状線(磯山BP) 道路改築事業(地方道路整備)	鈴鹿市五祝町～磯山町	50,000	56.9%	30,000	路線測量道路詳細設計
平野亀山線 道路改築事業(交付金+地方道路整備)	鈴鹿市平野町	250,000	46.0%	310,766	道路工(国委託)
鈴鹿環状線国府バイパス(I期工区) 道路改築事業(地方道路整備)	鈴鹿市平野町	10,000	0.9%	10,000	路線測量、道路設計、用地測量
国道306号樺一宮交差点 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市山本町～樺一宮町	9,000	14.8%	15,556	用地測量、物件調査、用地補償
一般県道四日市鈴鹿線(鈴鹿橋) 道路改築事業(県単)	鈴鹿市高岡町～一ノ宮町	0	0.0%	12,000	工損事後調査、水路工
一般県道鈴鹿港線 道路改築事業(県単)	鈴鹿市長太旭町	0	0.0%	5,000	路線測量、道路設計、用地測量
主要地方道神戸長沢線(定五郎橋) 道路改築事業(県単)	鈴鹿市弓削町～甲斐町	0	0.0%	1,000	交通量調査
四日市鈴鹿環状線 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市神戸	20,742	46.6%	10,370	
稲生山線 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市白子町	20,742	54.6%	20,742	歩道工、人道橋下部工
一般国道306号 交通安全事業(県単)	鈴鹿市東庄内町	0	0.0%	8,000	路線測量
鈴鹿宮妻峡線 交通安全事業(県単)	鈴鹿市下大久保町	5,000	12.7%	5,000	用地測量
鈴鹿公園長沢線 交通安全事業(県単)	鈴鹿市東山本町	0	0.0%	8,000	地質調査、歩道橋詳細設計
3・4・25四日市鈴鹿線 県単街路事業(県単)	鈴鹿市肥田町	2,200	69.2%	3,000	橋梁上部工(鈴鹿市委託)
3・4・7野町国府線 街路事業(地方道路整備)	鈴鹿市道伯町	0	0.0%	13,000	
芥川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市加佐登町～庄野町	52,500	62.1%	31,500	河川改修工事
棕川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市小田町～亀山市樺世町	105,000	63.3%	152,250	建物補償等
堀切川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市白子町	52,500	82.5%	52,500	河川改修工事
堀切川 水門耐震対策事業(交付金)	鈴鹿市寺家2丁目	24,150	38.5%	73,500	水門耐震対策工事
釜屋川 水門耐震対策事業(県単)	鈴鹿市寺家3丁目	15,750	82.9%	3,000	水門耐震対策工事
堀切川 河川調査費(県単)	鈴鹿市白子	2,000		2,000	流量観測
田古知川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市岸岡町	10,000	88.2%	10,000	河川改修工事
中野川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市磯山町	13,000	34.2%	25,000	護岸補修工事
芥川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市中富田町	0	16.1%	8,000	護岸設計
木田地区急傾斜事業(県単)	鈴鹿市木田町	5,000	18.5%	22,000	急傾斜対策工事
千代崎港海岸 海岸浸食対策事業(交付金)	鈴鹿市山中	37,700	95.1%	32,400	堤防老朽化対策工事
千代崎港海岸 海岸浸食対策事業(県単)	鈴鹿市南若松	15,000	33.3%	30,000	基本設計
磯山地区海岸 海岸局部改良事業(県単)	鈴鹿市寺家町	0	0.0%	30,000	護岸工事
合計		3,156,598		2,772,871	

2. 四日市農林事務所管内の主なもの パイプライン化など比較的順調に推移
(単位:千円)

事業名	施工箇所	進捗状況		平成27年度事業費	平成27年度事業概要
		H26当初事業費	～H26進捗率		
高度水利機能確保基盤整備事業	鈴鹿川沿岸6期地区	170,000	37.3%	(65,800) 140,000	用水路 31,320m
高度水利機能確保基盤整備事業	鈴鹿川沿岸8期地区	0	0.0%	18,280	27年度新規 用水路 18,700m
高度水利機能確保基盤整備事業	稲生地区	40,000	69.3%	(24,700) 10,000	区画整理 51.4ha
県営ため池等整備事業(農業用河川工作物等応急対策事業 大規模)	鈴鹿川第2頭首工地区	0	0.0%	5,000	27年度新規ゲート 9門
汚水処理施設整備交付金	三宅・徳居地区	326,900	78.4%	241,692	

※()書きは平成26年度からの繰越分外数

第42回先進国首脳会議(G7) 三重県で開催

サミットという世界最高峰の国際会議の開催は、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、地域の総合力向上につながる千載一遇のチャンスであり、三重県ならではの美しい自然、豊かな文化・伝統、先端技術などを強力に発信していく必要があります。

また、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域の活性化につながるためにも、県議会としても関わりをもって参画していきたいと思っております。



● サミット開催メイン会場志摩観光ホテルを視察

● サミット開催に向けて志摩市役所にて意見交換



ボランティアの方々と動物愛護問題に取り組んでまいります。

● お問い合わせ
〒510-0241 鈴鹿市白子駅前9-20 すずかのぶどう園

✉ d-kaihou@onyx.ocn.ne.jp ☎ 090-1786-0791
http://greennetmie.web.fc2.com/

